

国文白百合投稿規定

- 一、本誌への投稿資格は、白百合女子大学国語国文学会会員に限ります。
- 一、投稿論文の採否には、本誌編集委員会があたります。
- 一、投稿論文の枚数は、四百字詰原稿用紙三十枚を原則とします。
- 一、投稿論文の原稿はお返ししません。
- 一、投稿論文は、正副合わせて二部お送りください（コピーでも可）。
- 一、本誌五十五号（令和六年三月刊行予定）の投稿締切は、令和五年九月二十五日です。
- 一、投稿論文の送付先は、白百合女子大学国語国文学科研究室です。

編集後記

第五四号をお届けします。今回は論文三篇、共同セミナー記録一篇を収めました。巻頭は平沢竜介先生の「古今集」恋の部五から哀傷の部までの構造——左

右対称の対応関係という観点からの分析——」です。一九八四年に本学にご着任なさった平沢先生は、今年度にてご定年を迎えられます。一貫して本学のため、なによりも学生の皆さんのためにご尽力くださり、本年一月二三日に行われた最終講義には、教室に入りきらないほど多くの卒業生が駆け付けました。会議の場では、言いにくいことでもユーモアを交えながらいつもズバリと指摘くださいました。次号以降もぜひご寄稿賜りたく存じております。今後とも何卒ご指導ください。

フランスのリール大学との共同セミナーは二回目となりました。まだ試行錯誤の段階ですが、このような企画は継続することが大事だと思っております。

ご報告としましては、国語国文学科の特別授業として、二〇二二年六月一日に評論家の中川大地氏（ゲーム、サブカルチャー、都市論）、七月六日は江戸川大学の西条昇氏（お笑い、アイドル評論）をお迎えし、いずれも大盛況でした。大学院主体のオムニバス授業で六月一日に Agnès Gard 氏（人類学者、スイス

からズームにて講義）、七月一日に亀山郁夫氏、八日に平野啓一郎氏をお迎えした際にも学部学生が参加し、貴重なお話を直接伺う、またとない機会となりました。その内容は卒業論文にも生かされています。これらの企画については学科のインスタグラムでも紹介していますので是非ご覧ください。（井上）

【国文白百合】 54号

Lys blanc - Littérature japonaise

非売品

令和五年三月十五日 発行

〒一八二—八五二五

東京都調布市緑ヶ丘一—二五

白百合女子大学国語国文学研究室内

編集

発行 白百合女子大学国語国文学会

(電)〇三—三三二六—五〇五〇(代表)